

# 20年度予算のあらまし

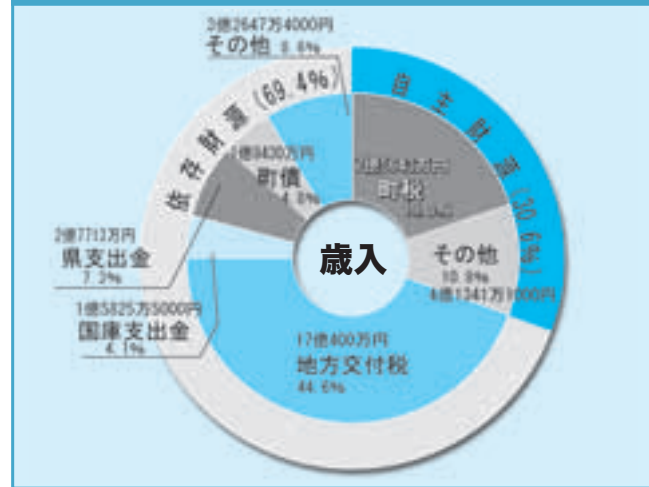
# まちの整備と発展へ58億円

平成20年度の当初予算が3月4日から12日までの会期で開かれた3月定例議会で原案通り可決され、一般会計と特別会計の総予算額は58億3710万円となりました。

一般会計は38億2000万円で、前年度（19年度）と比較して4300万円（1.1%）の増となり、昨年度に引き続き増額の予算となりました。

この一般会計予算は、世界遺産登録関連事業等に係る積極的予算となっています。

## 一般会計歳入

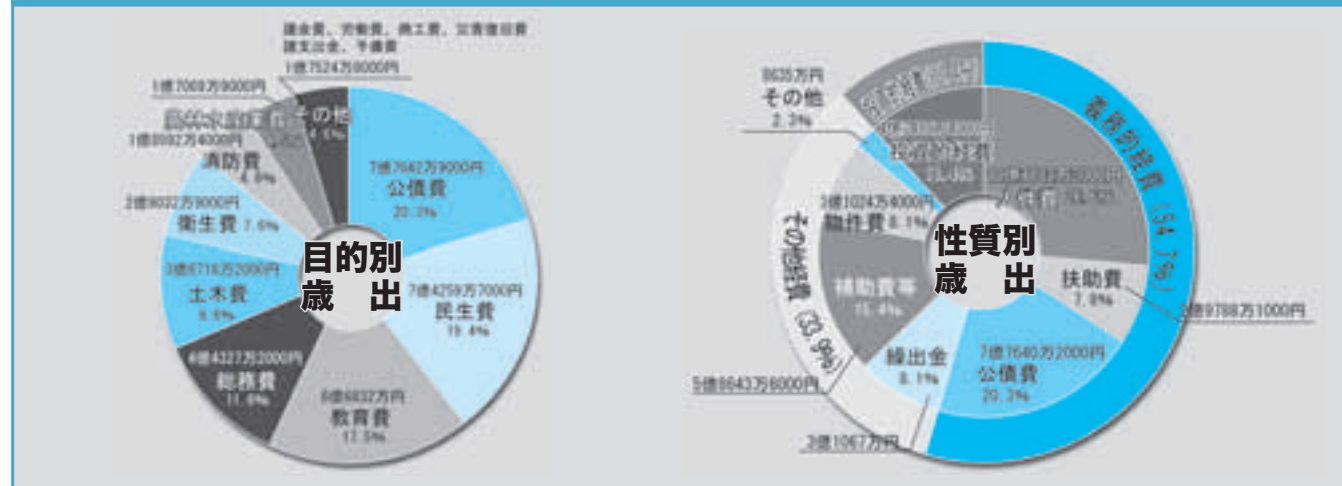


## 歳入

歳入を見ると、自主財源では、固定資産税等の減収により町税が前年度当初比3304万5000円の減額となりました。また、各種交付金や臨時財政対策債などの減収を補うため、主要基金の取り崩しを行っています。

依存財源では、平泉パイパス整備に関連した道路新設改良事業の完了に伴い、国庫支出金と町債は大幅な減額になりましたが、地方再生対策による地方交付税の増額、また郷土館の改修事業に伴う県支出金、諸収入の増額により、全体で26億5015万9000円と、前年度当初比7814万2000円の増額となりました。

## 一般会計歳出



## 歳出

歳出を目的別に見ると、公債費が7億7642万9000円と最も大きな割合を占めています。次いで民生費が7億4259万7000円、教育費6億6832万円、総務費4億4327万2000円、土木費3億6718万2000円、以下衛生費、消防費、農林水産業費と続きます。

性質別に見ると、投資的経費は平泉パイパス整備事業の完成により普通建設事業が4億3367万7000円と、前年度当初比7245万9000円の減額となりました。

義務的経費については、町財政の健全化を図るため

国の制度を活用した町債の繰上償還を行うことにより、公債費は7億7642万2000円と、前年度当初比7852万3000円の増額となりました。扶助費では障害者自立支援法の特別対策等に伴う増加が見込まれ、全体で20億9210万6000円と、前年度当初比で9618万1000円の増額となりました。

義務的経費の増加により財政の硬直化が進行しています。このため、普通建設事業を厳選し、物件費を対前年度比358万2000円減額するなど、歳出の抑制に努めました。

## 主な事業と予算額（※は新規事業）

### 投資事業

郷土館改修事業	217,531千円
町道整備事業（中学校線・坂下線・壱石線）	76,641千円
平泉遺跡群発掘調査事業	15,124千円
特別史跡無量光院跡保存修理事業	15,030千円
県営経営体育成基盤整備事業負担金	12,578千円
浄化槽設置整備事業補助金	10,060千円
標柱・説明板等設置事業（遺跡関連）	9,748千円
防火水槽設置事業	8,196千円
平泉保育所園庭整備事業（屋外トイレ整備）	6,007千円
準用河川笹谷川改修事業	4,820千円
町営住宅解体事業	3,600千円
いわて希望農業担い手応援事業	1,595千円
スマートIC整備事業	1,100千円

### 一部事務組合等負担金

### 主要事業

世界遺産登録推進事業（記念式典、記念誌作成等）	30,199千円
地域活力推進費（行政区特別枠）	10,000千円
うち、農地・水・環境保全向上対策事業	2,484千円
うち、河川維持事業	568千円
観光ルネサンス補助金	10,000千円
景観形成推進事業	9,635千円
妊産婦健康診査助成事業（14回無料化）	8,374千円
世界遺産登録記念イベント事業補助金	3,500千円
平泉観光推進実行委員会事業補助金	2,050千円
道の駅整備事業	2,000千円
広域観光連携組織負担金	1,000千円
仙台・宮城DC推進協議会負担金	1,000千円

一関地区広域行政組合負担金（環境衛生部門）	124,899千円
〃（介護保険部門）	91,079千円
消防事務委託負担金	140,169千円
岩手県後期高齢者医療広域連合分担金	67,640千円

## 各会計別総括表（単位：千円）

会計別	平成20年度	平成19年度	比較
一般会計	3,820,000	3,777,000	43,000
老人保健特別会計	71,600	794,000	722,400
国民健康保険事業勘定	760,500	795,200	34,700
特別会計 診療施設勘定	51,700	51,400	300
後期高齢者医療特別会計	64,500	0	64,500
健康福祉交流館特別会計	57,700	61,700	4,000
町営駐車場特別会計	50,000	70,000	20,000
下水道事業特別会計	506,700	388,000	118,700
農業集落排水事業特別会計	56,600	58,200	1,600
簡易水道事業特別会計	122,900	121,400	1,500
水道事業 3条予算	147,400	146,200	1,200
会計 4条予算	127,500	115,500	12,000
合計	5,837,100	6,378,600	541,500

## 地方債現在高（見込み）（単位：千円）

会計別	平成20年度	平成19年度	比較
一般会計	5,602,797	6,082,872	480,075
国民健康保険特別会計（診療施設勘定）	34,640	36,854	2,214
下水道事業特別会計	2,609,184	2,646,429	37,245
農業集落排水事業特別会計	736,203	754,235	18,032
簡易水道事業特別会計	640,577	650,323	9,746
水道事業会計	1,126,807	1,148,009	21,202
合計	10,750,208	11,318,722	568,514

## 町債残高見込み

町債については、社会基盤や公共施設の整備などの財源として活用してきましたが、20年度末残高見込みは全会計合わせて107億5020万8000円で、町民1人当たりになると約122万3000円となります。町債の活用にあたっては、将来の住民に過大な負担を残さないよう、財政運営の健全化に努めてまいります。

一般会計の町民1人当たりの予算額は**434,436円**（426,924円）となります。

公債費	民生費	教育費	総務費	土木費
88,301円（78,886円）	84,453円（83,863円）	76,006円（51,719円）	50,412円（49,744円）	41,758円（67,520円）
衛生費	消防費	農林水産業費	商工費	その他
33,018円（33,311円）	21,145円（20,446円）	19,413円（21,828円）	11,436円（9,745円）	8,494円（9,862円）

平成20年3月1日現在の人口8,793人、（ ）内は前年度の数値、平成19年3月1日現在の人口8,847人でそれぞれ計算